

## 国際会議に係る調査

- 1 調査依頼機関：東京都
- 2 希望回答期限：令和4年1月31日（月）
- 3 調査の趣旨

東京都は、世界から選ばれる都市の実現に向けて、国際的なプレゼンス向上のため各種取組を推進している。東京都の施策や東京の魅力を発信するために、都の職員によるプレゼンテーションやブース出展が可能であり、こうしたプロモーション活動が有効な国際会議について幅広く情報収集し、参加に向けた検討を進めている。

### 4 調査内容・質問事項

2022年4月から2023年3月までに開催予定又は開催が見込まれる国際会議のうち、以下の条件を満たすもの。

- 都の職員が出席・講演可能と見込まれるもの（都市が参加している会議）
- 都市課題（環境・エネルギー、DX、国際金融、企業振興、観光、ダイバーシティ・インクルージョン、都市計画、インフラ、防災、スポーツ、教育、食・文化・伝統等）に係るテーマを設定しているもの

#### 【調査項目】

※2022年の詳細がまだ公表されていない場合、①～⑥については直近の過去の実績

- ①会議名称
- ②開催日程、場所（対面又はオンライン）
- ③テーマ
- ④主な参加者・スピーカー（特に都市関係者）
- ⑤ブース（パビリオン）併設の有無
- ⑥会議HPのURL
- ⑦会議実績（開催回数・参加者数等の開催規模）
- ⑧会議の報告書や成果物

## 5 調査結果

## ○英国内で開催予定の会議一覧（開催日程順）

## (1) Forum for Global Challenges 2022【テーマ：都市課題全般】

①会議名称	Forum for Global Challenges 2022 共催：バーミンガム大学グローバル・イノベーション研究所、世界銀行、ユネスコ、英国産業連盟 等
②開催日程、場所 (対面又はオンライン)	2022年5月3日～5日 @英国・バーミンガム(対面+オンライン)
③テーマ	○テーマ：Catalysing solutions for the global challenges (グローバル課題の解決に向けて) ○議題：グリーンエコノミー、食・栄養、教育・雇用、男女共同参画、都市の未来、健康・福祉、環境、モビリティ等
④主な参加者・スピーカー(特に都市関係者)	【参加対象】政府、自治体、国際機関、研究機関等 ○政府・都市関係者 ・英国内(ウェストミッドランド市長、バーミンガム市福祉保健局長等) ・英国外(シエラレオネ・フリータウン市長、シエラレオネ・ジェンダー・子供担当大臣 等) ○国際機関・大学関係者 ・ユネスコ社会・人間科学局局長補佐、国連・シニア・プログラム・オフィサー、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 駐英代表、世界銀行プログラム・マネジャー、ハーバード大学/ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン教授 等
⑤ブース(パビリオン)併設の有無	無
⑥会議HPのURL	<a href="https://www.forumforglobalchallenges.com">https://www.forumforglobalchallenges.com</a>
⑦会議実績(開催回数・参加者数等の開催規模)	過去実績なし
⑧会議の報告書や成果物	○参考：会議開催の目的(5つのレガシー) ・地域、国、世界の各レベルにおける政策づくりに関する情報共有 ・課題解決に向けた効果的な連携強化 ・次世代のリーダー、実務者、政策立案者、一般市民の教育 ・国際的なイニシアティブの展開 ・上記課題に対する若者を中心とする一般市民の参加促進
⑨その他	・対面又はオンラインによるリアルタイムでのプレゼンのほか、事前録画したプレゼン動画の放映も可能。 ・2022年会議におけるプレゼンの申し込みは2022年2月7日締め切り(申込先： <a href="https://www.forumforglobalchallenges.com/submit-your-abstract/">https://www.forumforglobalchallenges.com/submit-your-abstract/</a> )

## (2) London Teck Week 【テーマ：都市課題全般】

①会議名称	London Teck Week 共催：英国政府、London & Partners、Tech London Advocates 後援：ロンドン市
②開催日程、場所 (対面又はオンライン)	2022年6月13日～17日 @英国・ロンドン (開催形式は未発表)
③テーマ	○テーマ：Amplifying the power, resilience and speed of innovation (イノベーションの力、レジリエンス、スピードの促進) ○議題：人工知能、気候変動テクノロジー、教育テクノロジー、医療テクノロジー、テクノロジー業界における女性活躍 等
④主な参加者・スピーカー (特に都市関係者)	未発表 【参加対象】テック企業、政府・自治体、大学・研究機関等 ※過去 (2021) 参加者 (政府・都市関係者) ・英国内 (福祉保健省大臣、デジタル・文化・メディア・スポーツ省大臣、ロンドン市長、ロンドン市デジタル担当職員 等) ・英国外 (元米国務長官 (ヒラリー・クリントン氏)、ミラノ市スマートシティ担当職員 等)
⑤ブース (パビリオン) 併設の有無	有 ※展示会は主にテック企業向け
⑥会議 HP の URL	<a href="https://londontechweek.com/">https://londontechweek.com/</a>
⑦会議実績 (開催回数・参加者数等の開催規模)	開催回数：過去8回 (初回は2014年) 参加者数：5万人以上 (95か国以上)
⑧会議の報告書や成果物	2021年会議概要： <a href="https://app.swapcard.com/event/london-tech-week-2021">https://app.swapcard.com/event/london-tech-week-2021</a>
⑨その他	・ヨーロッパ最大級のテック系イベント。 ・例年、5日間の会期中に、政府関係者による円卓会議からテクノロジー業界の企業・開発者向け展示会まで、300以上のイベントがロンドン市内各地で開催される。

## (3) LGA Annual Conference and Exhibition 2022 【テーマ：都市課題全般】

①会議名称	LGA Annual Conference and Exhibition 2022 主催：Local Government Association (英国地方自治体協議会)
②開催日程、場所 (対面又はオンライン)	2022年6月28日～30日 @英国・ハロゲート(対面+オンライン)
③テーマ	未発表 ※過去の議題 ・コロナ禍における地方自治体の取組(地域経済の回復、メンタルヘルス対策、地域間格差是正に係る海外事例の紹介、気候変動対策等)
④主な参加者・スピーカー(特に都市関係者)	未発表 【参加対象】政府、地方自治体、シンクタンク、マスコミ関係者等 ※過去参加者(政府・都市関係者) ・英国内(住宅・コミュニティ・地方自治省大臣、医療・社会保障担当大臣、ブラッドフォード市長、ハックニー区副区長等) ・英国外(オーストラリア・イーストピルバラ元市長、オランダ・ハーグ市長、カナダ・キッチナー市長 等)
⑤ブース(パビリオン)併設の有無	有
⑥会議HPのURL	会議： <a href="https://www.local.gov.uk/events">Events date and venue (local.gov.uk)</a> エキシビション： <a href="https://www.local.gov.uk/exhibition">LGA Annual Conference and Exhibition 2022 (28-30 June) - Harrogate (local.gov.uk)</a>
⑦会議実績(開催回数・参加者数等の開催規模)	開催回数：過去25回(初回は1997年) 参加者数：1,500人程度
⑧会議の報告書や成果物	2021年会議概要(報告書)： <a href="https://www.local.gov.uk/publications/build-back-local-building-back-better">https://www.local.gov.uk/publications/build-back-local-building-back-better</a>
⑨その他	・会議の主なスピーカー及び参加者は、英国政府・自治体関係者。 ・昨年度は海外事例の発表として、オーストラリア、オランダ、カナダの自治体首長等がスピーカーとして参加。 ・会議と同時開催されるエキシビションにてブース出展が可能。

## (4) Green Horizon Summit 【テーマ：環境／金融】

①会議名称	Green Horizon Summit 共催：シティ・オブ・ロンドン、グリーンファイナンス研究所
②開催日程、場所 (対面又はオンライン)	2022 年度開催については未発表 ※2021 年度実績：2021 年 11 月 2 日～11 日 @英国・グラスゴー (対面+オンライン)
③テーマ	未発表 ※過去のテーマ・議題 ○テーマ：Mobilising private capital in the transition to net zero (ネットゼロへの移行における民間資本の活用) ○議題：グリーン投資機会の促進、ネットゼロ都市の実現に向けて、ゼロカーボン交通 等
④主な参加者・スピーカー (特に都市関係者)	未発表 【参加対象】政府、地方自治体、シンクタンク、金融業界関係者等 ※過去参加者 (政府・都市関係者) ・英国内 (英財務大臣、シティ・オブ・ロンドン市ロードメイヤー、ブリストル市長、グラスゴー市職員 等) ・英国外 (南アフリカ公営企業局大臣、シンガポール環境大臣、米フロリダ州・マイアミデイド群長 等)
⑤ブース (パビリオン) 併設の有無	無
⑥会議 HP の URL	<a href="https://www.greenhorizonsummit.com/event/a777a3fa-9c35-4901-a077-41d295a85990/websitePage:a38fe3e6-ea36-4ed5-99de-e92ab5d7510b">https://www.greenhorizonsummit.com/event/a777a3fa-9c35-4901-a077-41d295a85990/websitePage:a38fe3e6-ea36-4ed5-99de-e92ab5d7510b</a>
⑦会議実績 (開催回数・参加者数等の開催規模)	開催回数：過去 2 回 (初回は 2019 年) 参加者数：1 万人以上 (オンライン)
⑧会議の報告書や成果物	2021 年会議概要 (報告書) : <a href="https://www.greenhorizonsummit.com/event/a777a3fa-9c35-4901-a077-41d295a85990/websitePage:a38fe3e6-ea36-4ed5-99de-e92ab5d7510b">Summary Green Horizon Summit @COP (cvent.com)</a>
⑨その他	

## (5) The London Conference 【テーマ：都市課題全般】

①会議名称	The London Conference 主催：Centre for London (シンクタンク) 後援：シティ・オブ・ロンドン
②開催日程、場所 (対面又はオンライン)	2022 年度開催については未発表 ※2021 年度実績：2021 年 11 月 30 日 @英国・ロンドン (対面+オンライン)
③テーマ	未発表 ※過去のテーマ・議題 ・首都が直面する課題について (格差是正、女性の安全確保、気候変動対策、コロナ禍における首都の役割、市民が市長に求めるもの、包括的で働きやすい首都を目指して 等)
④主な参加者・スピーカー (特に都市関係者)	未発表 【参加対象】ビジネス、地方自治体関係者 (主にシニアレベル) 等 ※過去参加者 (政府・都市関係者) ・英国内 (ロンドン市長、シティ・オブ・ロンドン政策委員会会長、バーンリー区長、イズリントン区長、ロンドン警視總監 等) ・英国外 (米国・ニューヨーク副市長 等)
⑤ブース (パビリオン) 併設の有無	無
⑥会議 HP の URL	<a href="https://www.centreforlondon.org/events/conferences/">https://www.centreforlondon.org/events/conferences/</a>
⑦会議実績 (開催回数・参加者数等の開催規模)	開催回数：過去 9 回 (初回は 2013 年)
⑧会議の報告書や成果物	2021 年会議概要 (動画) : <a href="#">The London Conference 2021 #LonConf21 - YouTube</a>
⑨その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の主なスピーカー及び参加者は、英国内の市長、副市長、区長をはじめとするシニア行政関係者。</li> <li>・議題は英国・ロンドンの首都機能の向上に向けたテーマが中心。</li> <li>・過去にはニューヨーク副市長等、他国の首都自治体からのスピーカーも参加。</li> </ul>

## (6) Futurebuild 【テーマ：建設／環境・エネルギー】

①会議名称	Futurebuild 主催：Futurebuild（建設業界プラットフォーム）
②開催日程、場所 （対面又はオンライン）	2022 年度開催については未発表 ※2021 年度実績（予定）：2022 年 3 月 1 日～3 日 @英国・ロンドン（対面）
③テーマ	○テーマ：建設／環境・エネルギー／住宅 ○議題：ネットゼロ達成に向けて金融業界に求められること、COP26 を踏まえた未来、サーキュラーエコノミーの実現、英国の住宅政策について 等
④主な参加者・スピーカー（特に都市関係者）	【参加対象】企業、建築家、建設業者、コンサルタント、設計者、地方政府・自治体関係者等 ※過去参加者（政府・都市関係者） ・ケンブリッジ市議会議員、マンチェスター市戦略・経済担当 等
⑤ブース（パビリオン）併設の有無	有
⑥会議 HP の URL	<a href="https://www.futurebuild.co.uk/">https://www.futurebuild.co.uk/</a>
⑦会議実績（開催回数・参加者数等の開催規模）	開催回数：過去 16 回 参加者数：約 2 万人 展示ブース数：約 500 点
⑧会議の報告書や成果物	2020 年 会 議 概 要 （ 報 告 書 ） ： <a href="https://www.futurebuild.co.uk/wp-content/uploads/sites/214/2020/05/FB2020_PostShowReport_V11.pdf">https://www.futurebuild.co.uk/wp-content/uploads/sites/214/2020/05/FB2020_PostShowReport_V11.pdf</a>
⑨その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設業界のネット・ゼロ達成に向け、政府を含む建設業界に関わる各セクターの連携強化を目的とした会議。</li> <li>・複数のサミットと並行して、見本市を開催。</li> </ul>

## (7) Eco City World Summit 【テーマ：環境】 ※次回は 2023 年度開催予定

①会議名称	Eco City World Summit London 共催：英国政府、ロンドン市長室、ロンドン交通局、シティ・オブ・ロンドン 等
②開催日程、場所 (対面又はオンライン)	2023年6月6日～8日 @英国・ロンドン (対面+オンライン) ※2021年度実績 (予定) : 2022年2月22日～24日 (完全オンライン)
③テーマ	未発表 ※過去のテーマ・議題 ・グリーン・インフラ、再生可能エネルギーの活用、サーキュラーエコノミーの推進 等
④主な参加者・スピーカー (特に都市関係者)	【参加対象】政府・自治体、大学・研究機関関係者、学生 等 ※過去参加者 ○政府・都市関係者 ・オランダ・ロッテルダム市職員 (景観設計担当、レジリエンス都市担当)、サウジアラビア・リヤド市職員 (都市緑化・気候変動対策担当) 等 ○国際機関・大学関係者 ・ICLEI World、UNEP 等
⑤ブース (パビリオン) 併設の有無	未定 (過去会議では展示スペースの設置あり。)
⑥会議 HP の URL	<a href="https://www.ecocitysummitlondon.com/">https://www.ecocitysummitlondon.com/</a>
⑦会議実績 (開催回数・参加者数等の開催規模)	開催回数：過去 14 回 (初回は 1990 年) ※過去開催地は、カナダ・バンクーバー、オーストラリア・メルボルン、UAE・アブダビ、米・サンフランシスコ、中国・深圳 等
⑧会議の報告書や成果物	過去開催会議概要： <a href="https://ecocity-summit.com/past-summits/">https://ecocity-summit.com/past-summits/</a>
⑨その他	・健康で持続可能な未来の都市づくりをテーマに、1990 年以降、世界各都市で開催されている国際会議。



## ○【参考】英国外（ロンドン事務所所管国）で開催予定の会議一覧（開催日程順）

※ロンドン事務所の調査対象国は英国のみでしたが、調査を進める中で入手した英国外の所管国の会議情報もご参考までに記載します。

## (1) ICLEI World Congress 2021-2022（スウェーデン）【テーマ：都市課題全般】

①会議名称	ICLEI World Congress 2021-2022 主催：スウェーデン・マルメ市、ICLEI（持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会）
②開催日程、場所 （対面又はオンライン）	2022年5月11日～13日 @スウェーデン・マルメ市（対面＋オンライン）
③テーマ	○テーマ・議題 持続可能な都市開発 ・さらに公平で包括的なコミュニティに向けて ・自然と調和したレジリエンスで健全なコミュニティ ・カーボンニュートラルな未来に向けた戦略
④主な参加者・スピーカー（特に都市関係者）	【参加対象】 ICLEI 加盟自治体 等 ※過去（2018）参加者 ○都市関係者 ・京都市副市長、カナダ・モントリオール市長、カメルーン・バンガンテ市長 等
⑤ブース（パビリオン）併設の有無	無
⑥会議 HP の URL	<a href="https://worldcongress.iclei.org/#">https://worldcongress.iclei.org/#</a> （下記、日本語サイト） <a href="https://japanoffice.iclei.org/ja/events/worldcongress2021/">https://japanoffice.iclei.org/ja/events/worldcongress2021/</a>
⑦会議実績（開催回数・参加者数等の開催規模）	開催回数：過去9回（初回は1990年） 参加者数：1,500人
⑧会議の報告書や成果物	2018年会議概要（日本語）： <a href="https://japanoffice.iclei.org/ja/iclei_wc_2018-report/">https://japanoffice.iclei.org/ja/iclei_wc_2018-report/</a>
⑨その他	・ ICLEI 世界大会は2021年と2022年に2部に分けて開催。 ・ 2021年の第1部会議の概要（ICLEI Japan HPより）： <a href="https://japanoffice.iclei.org/ja/https-japanoffice-iclei-org-iclei_wc_2021-report/">https://japanoffice.iclei.org/ja/https-japanoffice-iclei-org-iclei_wc_2021-report/</a> ・ 東京都も ICLEI に加盟している。

(2) 10th Child in the City World Conference (アイルランド) 【テーマ：福祉／教育】

①会議名称	10th Child in the City World Conference 主催：アイルランド子供庁、ダブリン市、国際子ども財団
②開催日程、場所 (対面又はオンライン)	2022年10月5日～7日 @アイルランド・ダブリン市(対面+オンライン)
③テーマ	・子供の心と体の健康、子供の都市政策への参加、子供のコロナ禍における社会参加 等
④主な参加者・スピーカー(特に都市関係者)	【参加対象】政府、自治体、大学・研究機関 等 ※過去(2018)参加者 ○都市関係者 ・ベルギー・アントワープ市、スロヴェニア・リュブリャナ市、スウェーデン・ストックホルム市、アイルランド・ダブリン市職員 等 ○大学関係者 ・早稲田大学、東洋大学、バーミンガム大学、コペンハーゲン大学 等
⑤ブース(パビリオン)併設の有無	無
⑥会議HPのURL	<a href="https://www.childinthecity.org/2022-conference/">https://www.childinthecity.org/2022-conference/</a>
⑦会議実績(開催回数・参加者数等の開催規模)	開催回数：過去9回(初回は2002年) スピーカー：100人以上
⑧会議の報告書や成果物	2018年会議概要： <a href="https://www.childinthecity.org/2018-conference/programme/">https://www.childinthecity.org/2018-conference/programme/</a>
⑨その他	

(3) AsiaBerlin Summit (ドイツ) 【テーマ：企業振興】

①会議名称	AsiaBerlin Summit 主催：ベルリン州経済・エネルギー・公共企業局
②開催日程、場所 (対面又はオンライン)	2022 年度開催については未発表 ※2021 年度実績：2021 年 10 月 4 日～10 日 @ドイツ・ベルリン (対面+オンライン)
③テーマ	未発表 ※過去のテーマ・議題 ・国際化 ・女性起業家/ダイバーシティ/LGBTQ ・社会起業家 ・スマートシティ/アーバンテック/グリーンテック/気候変動テック/フィンテック 等
④主な参加者・スピーカー (特に都市関係者)	【参加対象】政府、自治体、スタートアップ企業、投資家 等 ※過去 (2021) 参加者 (都市関係者) ・ベルリン州経済・エネルギー・公共企業局、ベルリン市、ジャカルタ市、山形県、渋谷区、横浜市、京都府職員 等
⑤ブース (パビリオン) 併設の有無	無
⑥会議 HP の URL	<a href="https://asia.berlin/summit/">https://asia.berlin/summit/</a>
⑦会議実績 (開催回数・参加者数等の開催規模)	開催回数：過去 16 回 (初回は 1997 年) スピーカー数：200 人 参加者数：2,000 人以上
⑧会議の報告書や成果物	2021 年 会 議 概 要 ( 報 告 書 ) : <a href="https://asia.berlin/wp-content/uploads/2021/11/ABS-2021-SUMMARY-1.pdf">https://asia.berlin/wp-content/uploads/2021/11/ABS-2021-SUMMARY-1.pdf</a>
⑨その他	・ベルリン州政府がドイツとアジア経済圏の発展・エコシステム形成を目的として開催している国際サミット。 ・毎年 1 週間にわたり開催。ネットワーキングや商談等も行われる。